

丸谷浩明教授の最終講義を行いました（2025/3/21）

テーマ：BCP、企業・組織の防災
場 所：災害科学国際研究所 多目的ホール

3月21日（金）、当研究所の丸谷浩明教授（防災社会推進分野）が今年度をもって退職するに当たり、最終講義をとり行いました。冒頭、最終講義実行委員長の佐藤健教授（防災教育実践学分野）より、丸谷教授の略歴・業績の紹介がありました。丸谷教授からは「事業継続計画（BCP）のこれまでと将来」と題して、当研究所での丸谷教授の活動、これまでの事業継続計画（BCP）、BCP・BCM の今後について講義されました。その後、栗山進一所長・教授（災害公衆衛生学分野）と、丸谷教授が副所長時代の所長の今村文彦教授（津波工学研究分野）から、丸谷教授へのお礼の言葉が述べられました。さらに、実行委員会から記念品の贈呈と、丸谷教授と共同研究を行ってきた企業から花束の贈呈がありました。最終講義には多くの方にご参加いただき大変盛会となり、最終講義後の「囲む会」では非常に和やかな雰囲気です丸谷教授と参加者との交流が行われました。

なお、3月28日（金）には、遠隔地の方などを想定して、丸谷教授の最終講義の撮影動画を紹介するWEB会議形式の会合も行われました。

丸谷教授は、2025年4月からイオン防災環境都市創生共同研究部門の特任教授として、今後も研究活動を続けます。



丸谷浩明教授



会場の様子



記念品の贈呈



最終講義の最後の記念撮影

文責：佐藤翔輔（防災社会推進分野）